

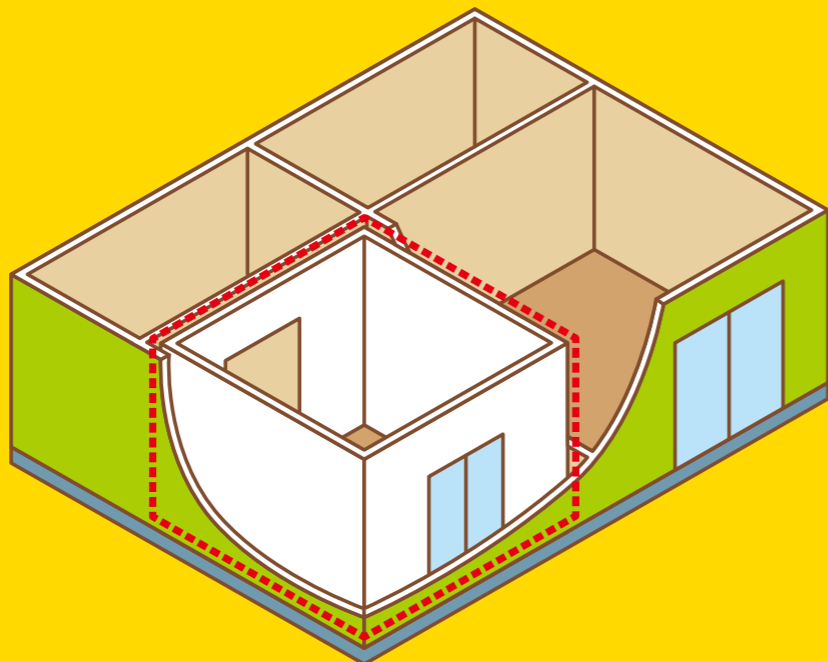
大がかりな耐震改修は時間と費用がかかる…  
でも、あきらめないで!!

住宅が倒壊しても安全な空間を  
確保できる方法があります。

### ●安全な空間の確保のために

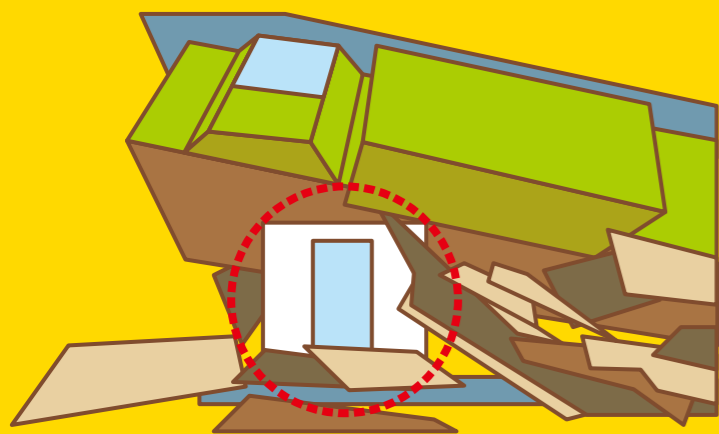
家屋が倒壊しても安全な空間を確保できる装置を住居内に設置することで、高齢者や障害者など自力で避難することが困難な方への対策を行うことができます。

「耐震シェルター」と「防災ベッド」があり、いずれも耐震改修工事に比べて安価に設置でき、住みながらの工事や短期間での設置も可能です。



#### 耐震シェルター

建物が倒壊しても壊れない耐震構造物(シェルター)を部屋の中に設置し、中にある人の身の安全を確保します。



#### 防災ベッド

ベッドまわりなど、部屋の一部を鋼鉄製のフレームなどで覆い、建物の倒壊や落下物から寝ている人の身を守ります。



#### 問い合わせ先

豊橋市役所 防災危機管理課 ☎0532・51・3116

この印刷物は、カラーユニバーサルデザインに対応しています。

# あなたのお宅は大丈夫？

いつきてもおかしくないといわれている南海トラフ巨大地震。阪神・淡路大震災などの大地震で犠牲になった方々の多くが住宅の倒壊や家具の転倒による圧死でした。地震に強い家に住み、家具の固定をすることで来るべき地震に備えましょう。

阪神・淡路大震災の  
人的被害

死者  
6,434人

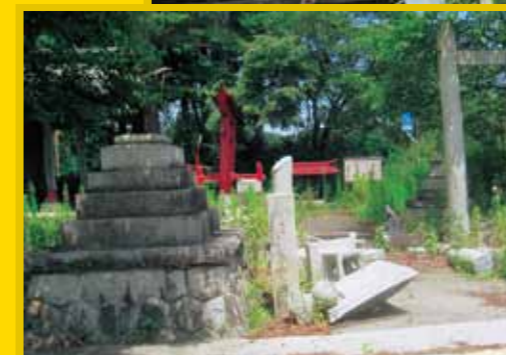
犠牲者のうち  
家屋の倒壊などにより  
圧死された方 **84%**

自宅で地震の被害にあわないようにするためには、まずは自宅を耐震化するとともに家具が転倒、落下しないように固定するなどの対策を取ることが重要です。



独立行政法人防災科学技術研究所提供

実際の地震と同じ複雑な三次元の揺れを造り出す震動台上で耐震補強の効果や建物の耐震性を検証するため、耐震補強をしている家と耐震補強をしていない家の破壊実験を行った写真です。



東北地方太平洋沖地震(H23.3.11)より(福島県南相馬市)



平成28年(2016年)熊本地震(H28.4.14)より(熊本県益城町)

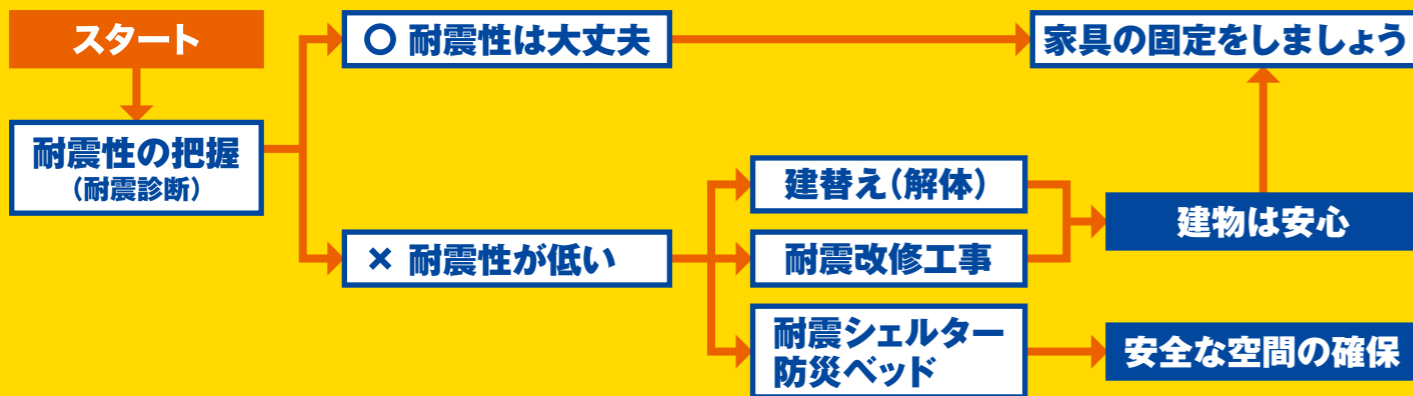


# 住まいの耐震対策はお済みですか？

地震の際、建物や家具の下敷きになってしまったら、避難することもできません。また、倒壊した建物は周囲の人の避難の妨げにもなります。いつ起こるか分からない地震に備えて、住まいの耐震対策をしましょう。



## ●地震対策の進め方



## ●耐震診断を受けましょう

住まいを地震から守る第一歩は「建物の状態を知ること」です。昭和56年以前に建てられた木造住宅の多くは、「耐震性が低い」と言われています。まずは住まいの「耐震診断」をして、弱点を把握しましょう。



## ●耐震性が低かったら？

もし、耐震診断で住まいの耐震性が低いと判定されたら、耐震改修工事をして地震による倒壊を防ぎましょう。病気を治療するように、建物も弱い部分には補強が必要です。



豊橋市では昭和56年以前に建てられた木造住宅の「無料耐震診断」を実施しています。診断の結果、耐震性が低いと判定された住宅については、耐震改修・解体工事費等の補助制度があります。非木造住宅についても耐震診断・耐震改修工事費の補助制度があります。詳しくは下記までご相談ください。

豊橋市役所 建築物安全推進室 ☎0532・51・2579

## ●家具・家電製品の固定等



## ●他にも色々あります



※飛散防止フィルムは窓ガラスなら内側、食器棚や額縁などの家具類のガラス面には外側へ貼り付けましょう。

## 地震に強い家具の置き方・固定の仕方

私たちの生活に欠かせない家具や家電製品も、地震が起こるとその姿は一変し、「凶器」となって襲ってくる場合があります。家具などの転倒・落下によるケガを未然に防ぎ、逃げ道を確保するために事前に対策をとりましょう。



東北地方太平洋沖地震 総務省消防庁提供

地震の揺れにより、家具などが倒れ、室内が散乱しているのが分かります。事前に備えていれば…。家具の固定、転倒防止は必ず行いましょう。

## 転倒防止のポイント

- 安全空間の確保!  
寝室、幼児・高齢者のいる部屋にはなるべく、家具を置かない。また、部屋の出入り口付近や廊下、階段等に物を置かない。
- 家具の正しい設置・使用を行う!  
重い物を下に、軽いものを上に収納して重心を下げ、じゅうたんや畳の上に、背の高い家具を置かない。